

午前6時に変更

登校前

登校後

状況	対応	メール配信等	メール配信未加入の方
ア 午前6時の段階で「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」「特別警報」「降灰予報」が、横浜市に継続して発表されている。	(自動的に) <b>市立学校一斉臨時休校</b> (横浜市学校防災計画による) ○キッズ臨時休業	○メールを待たず、まずは、警報にてご判断ください。 <b>※解説2</b> ○補足的に、メールを配信する場合があります。(基本的にはないものとお考えください。)	○電話連絡はできません。 ○「警報」により判断してください。 ○メール配信内容は、加入されている方に聞いてください。
イ 「暴風・大雪・暴風雪・特別警報」はないが、強風、大雨、大雪等で登校が危険とご家庭で判断。	(原則として) ○ <b>通常授業</b> ○「危険」と判断した場合は、登校を見合わせてください。 <b>※解説1</b>		
ウ <b>大地震発生</b> 横浜市域のいずれかで <b>震度5強以上</b> ○前日の放課後、休日、夜間等に震度5強以上の地震が発生した。	(原則として、自動的に) ○当日と翌日は全市一斉臨時休校 ○被害が少ないなど、学校が判断すれば、授業実施の場合あり。 ○職員体制が整うまで時間がかかると想定される。	○授業実施の場合、メール配信、校門掲示等発信に努めます。	○震度5強以上＝休校と判断し、メール配信に加入している方から情報を得てください。
エ 南海トラフ地震 「注意情報」「警戒宣言」発令	(自動的に) ○ <b>臨時休校</b>	○情報でご判断ください。 ○メール配信困難です	○電話連絡はできません。
オ 登校後天候が悪化 「暴風警報」「大雪警報」「暴風雪警報」「特別警報」「降灰予報」等発表、その他の悪天候。	メール配信等により、預かり・留め置き・引き渡し ○状況によっては、下校時刻を早め、地区別下校となることがあります。	○メール配信にて、状況と対応を伝達するよう努めます。 ○対応の変更も逐次伝達するよう努めます。	○電話連絡を試みます。 ○お届けいただいた連絡先に、原則として、一回まで連絡します。(留守電モードと定期的確認をお願いします。) <b>※解説3</b> ○メール配信に加入している方に聞くか、学校ホームページから情報を得てください。
カ 地震発生 震度5強に達していないが、交通網の混乱、停電、火災発生などで児童を帰宅させることが危険と判断。	○引き渡し時は、保護者への引き渡しを原則とします。 ○通常の下校時間帯に天候が回復すれば、通常下校とする場合があります。		
キ <b>南海トラフ地震「警戒宣言」が発令</b>			
ク <b>南海トラフ地震注意情報発令</b>	○本校は原則として、留め置き・引き渡し。		
ケ <b>大地震発生</b> 横浜市域のいずれかで <b>震度5強以上の地震</b> を観測した。	(自動的に) <b>引き渡し、預かり・留め置き</b>	○メール配信による情報発信に努めます。 ○情報が届くまで時間がかかると想定されます。 <b>遠方にいる保護者の方は</b> 、児童は学校で安全に過ごしていると考え、身の安全を図ってください。	○電話連絡はできません。 ○横浜地域の「地震情報」により判断してください。 ○メール配信内容は、加入されている方に聞いてください。

※解説1 悪天候で判断して休んだり遅れたりする場合、欠席・遅刻とはしません。欠席連絡は入れてください。

※解説2 早朝のメール配信は、職員の被災、停電、メールシステムダウンなどで、不可能、または、遅れる場合があります。メール受信の有無で判断しようとする、警報が出ている悪天候の中に登校してしまうなどの危険が生じますので、**まずは「警報」により、各ご家庭にてご判断ください。**

※解説3 残留児童の安全確保と指導を優先しますので、「第一報連絡」以後のメール配信内容の変更を、電話にて逐次連絡していくことは困難です。メール配信に加入している方から連絡を受けられるようにしてください。

## 「警報」を知る方法

### 便利でわかりやすい「警報」の見方

#### ＝地上波デジタルテレビの「dデータ連動」放送を使う

テレビ（NHK地上波デジタル等）で、データ放送から横浜地域の「警報」をリアルタイムで確認することができます。



テレビリモコンの「dデータ」ボタンを押す→「防災・災害情報」などで、「警報注意報」に進むと、現在横浜地域に出ている「警報」を見ることができます。

## その他の「警報」を知る方法 「横浜市学校防災計画」より

### 1 横浜市危機管理室ホームページ「横浜市の気象情報」

(1) インターネットに接続し、横浜市ホームページ (<http://www.city.yokohama.lg.jp/>) の左側にある、「防災情報」をクリックし、さらに次の画面の左側にある「防災・災害情報」の一番上「防災情報」をクリックしてください。

(2) 表示された画面の左上「横浜市域の警報・注意報 災害情報」の「気象警報・注意報」や「津波警報・注意報」をクリックすると、次の画面で、神奈川県内の各地方の警報・注意報発表状況が表示されます。

### 2 横浜市水防災情報ホームページ（携帯電話版）

(1) 携帯電話（スマホやパソコンも可）でインターネットに接続し、次のURLを入力してください。  
<http://www.bousai-mail.jp/yokohama/>

(2) 表示された画面で、「気象特別警報・警報・注意報」を選択すると、横浜・川崎に対し、直近の時刻に発表された情報が表示されます。

(3) さらに、「現在の注意報・警報へ」を選択すると、その時点での、横浜・川崎に対する警報・注意報発表状況が確認できます。

### 3 横浜市「防災情報Eメール」配信

上記2「横浜市水防災情報」の内容は、あらかじめメールアドレスを登録すれば、Eメールで受信することができます。配信される情報の種類は、任意に設定可能です。

登録を希望する場合は、携帯電話（パソコンも可）で、「横浜市防災情報」ページから手続きをしてください。

○ テレビのニュース番組等の「気象情報コーナー」等で、各地の警報発表状況が放送された場合に確認できます。ただし、休校判断時刻前後に放送されるとは限らないことに留意の必要があります。

○ NTTの「177」では、電話をかけた時点で警報等が発表継続中であれば、冒頭で放送されます。ただし、利用が集中した場合、つながりにくくなる場合があります。